

# ダイズカメムシ類の生態、被害及び 防除対策について



農研機構 植物防疫研究部門 遠藤信幸

- ダイズカメムシ類による被害や耕種的対策
- ダイズを加害するカメムシ類
- 2024年にカメムシ類の発生が多かった要因  
(2025年の発生動向)
- ミナミアオカメムシの発生予察
- ダイズカメムシ類の防除対策

# ダイズカメムシ類による青立ち被害 佐渡調査(2020/10/28)

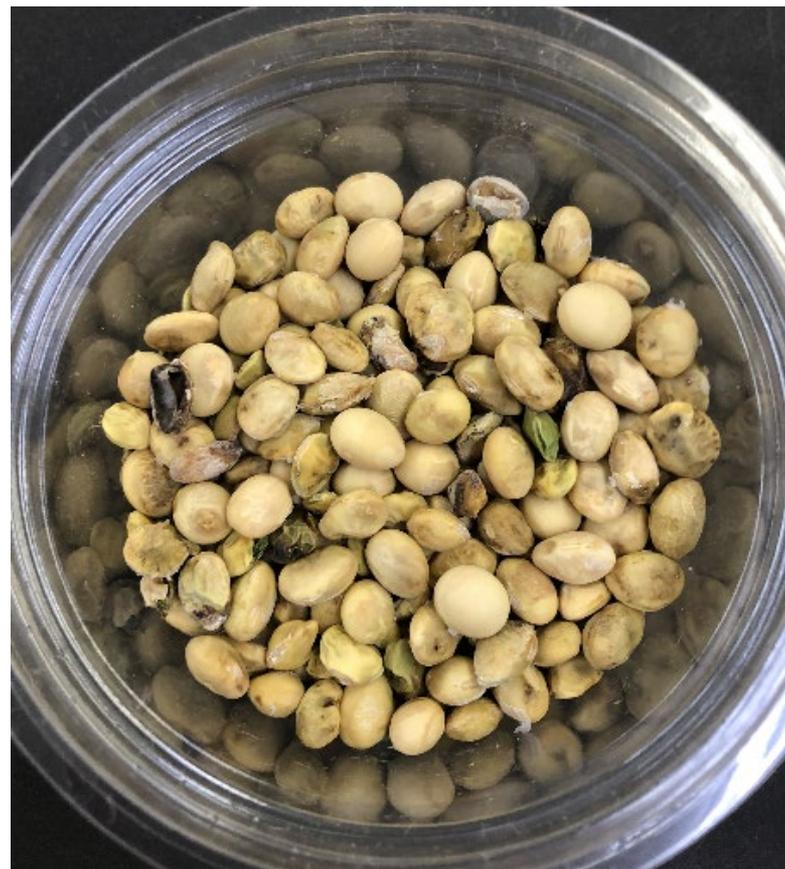


# 被害粒調査

A地点:「エンレイ」採種圃(95.3%)

B地点:「里のほほえみ」(92.4%)

C地点:「里のほほえみ」(100%)



# ダイズカメムシ類による被害や耕種的対策

- ✓ 莢伸長初期から子実肥大初期に加害を受けたものは子実が肥大しない不稔粒や変形が激しくず粒となり、収量に影響する
- ✓ 子実肥大中期以降の被害粒は転選機での除去が難しいことから収量への影響は少ないものの、品質の低下をもたらす
- ✓ 初期の加害は補償作用により収量への影響は少ない
- ✓ 開花時期の遅い品種や小粒の品種では被害が少ない傾向あり



- 小粒で粒数が多い品種や開花期が遅い品種の導入
- 同じ品種でも播種時期を遅らせることも被害軽減に有効  
(※遅植により収量が減る可能性があるため注意が必要)

